

**第 99 回日本感染症学会総会・学術講演会
第 73 回日本化学療法学会総会
合同学会演題**

特別講演

特別講演 1 5 月 8 日 (木) 10 : 50 ~ 11 : 50 第 1 会場 (1F G3)

司会：光武耕太郎（埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科）

「Biodiversity and infectious diseases : Principles to guide prevention」

Distinguished Professor of the Sciences, Bard College Felicia Keesing

特別講演 2 5 月 8 日 (木) 14 : 40 ~ 15 : 40 第 1 会場 (1F G3)

司会：宮崎義継（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所

ハンセン病研究センター・真菌部）

「次世代に求められる感染症への対応と化学療法の進歩：広い視野による社会との連携と科学の革新」

長崎大学，北松中央病院，長崎百合野病院 河野 茂

特別講演 3 5 月 9 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 00 第 1 会場 (1F G3)

司会：川名明彦（防衛医科大学校内科学講座（感染症・呼吸器））

「歴史的にみた感染症」

国際日本文化研究センター 磯田道史

特別講演 4 5 月 10 日 (土) 10 : 20 ~ 11 : 20 第 1 会場 (1F G3)

司会：石井良和（広島大学 IDEC 国際連携機構）

「SCARDA の活動と課題：新たなワクチン開発と共創の推進」

AMED 先進的研究開発戦略センター（SCARDA） 濱口道成

海外招請講演

海外招請講演 1 5 月 8 日 (木) 16 : 50 ~ 17 : 50 第 2 会場 (1F G4)

司会：土井洋平（藤田医科大学医学部微生物学講座・感染症科）

「Global and local implications of Antibiotic resistance」

President ESCMID, Senior Consultant Statens Serum Institut, Copenhagen, Denmark Robert Skov

海外招請講演 2 5 月 9 日 (金) 8 : 50 ~ 9 : 50 第 3 会場 (1F G5)

司会：齋藤昭彦（新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野）

「The Increasing Threat of Antimicrobial Resistant Organisms」

Professor of Pediatrics, Feinberg School of Medicine of Northwestern University

Pediatric Infectious Diseases Physician, Medical Director

- International Patient and Destination Services Program, Medical Director -

International Adoptee Clinic, and President of Lurie Medical/Dental Staff

at Ann & Robert H. Lurie Children's Hospital of Chicago

President, Infectious Diseases Society of America Tina Q. Tan

教育講演

教育講演 1 5月8日(木) 9:10~9:50 第4会場(1F G6)

司会: 佐々木淳一 (慶應義塾大学医学部救急医学)

「日本版敗血症診療ガイドライン 2024 アップデート」

広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 志馬伸朗

教育講演 2 5月8日(木) 10:00~10:40 第4会場(1F G6)

司会: 亀井克彦 (千葉大学真菌医学研究センター)

「抗真菌薬の適正使用の意義と実践」

大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 掛屋 弘

教育講演 3 5月8日(木) 9:10~9:50 第5会場(1F G7)

司会: 長谷川直樹 (慶應義塾大学医学部感染症学)

「外来静注抗菌薬療法 OPAT, 日本における現状と課題」

日本赤十字社成田赤十字病院感染症科, 亀田総合病院感染症内科 馳 亮太

教育講演 4 5月8日(木) 10:00~10:40 第5会場(1F G7)

司会: 齋藤昭彦 (新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野)

「「感染症診療の原則」とその周辺」

感染症コンサルタント 青木 眞

教育講演 5 5月8日(木) 14:40~15:20 第5会場(1F G7)

司会: 小林 治 (国立がん研究センター中央病院感染症部)

「感染症診療に係る保険医療のルールの正しい理解」

関東信越厚生局 内藤智雄

教育講演 6 5月8日(木) 15:30~16:10 第5会場(1F G7)

司会: 佐々木結花 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科)

「結核に関する概説, 結核治療の変遷と未来」

国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター 露口一成

教育講演 7 5月8日(木) 16:20~17:00 第5会場(1F G7)

司会: 関 雅文 (埼玉医科大学医学部国際医療センター感染症科・感染制御科)

「Common disease としての COVID-19 の現状と今後」

大阪大学大学院医学系研究科感染制御学 忽那賢志

教育講演 8 5月8日(木) 17:10~17:50 第5会場(1F G7)

司会: 石井 誠 (名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態内科学講座呼吸器内科学)

「日常診療における肺非結核性抗酸菌症の診断, 治療 up-to-date」 慶應義塾大学医学部感染症学 長谷川直樹

教育講演 9 5月9日(金) 8:50~9:30 第5会場(1F G7)

司会: 中村 造 (東京医科大学病院感染制御部・感染症科)

「グローバル感染症とワクチン最新情報」

国立健康危機管理研究機構国際感染症センター 氏家無限

教育講演 10 5月9日(金) 9:35~10:15 第5会場(1F G7)

司会: 高橋 聡 (札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

「HPV 予防ワクチンと治療ワクチンのインパクトと今後の展望」

日本大学医学部産婦人科学分野 川名 敬

教育講演 11 5月9日(金) 10:20~11:00 第5会場(1F G7)

司会：潟永博之(国立健康危機管理研究機構エイズ治療・研究開発センター)

「HIV 感染症診療の現状と課題」 国立健康危機管理研究機構エイズ治療・研究開発センター 照屋勝治

教育講演 12 5月9日(金) 11:05~11:45 第5会場(1F G7)

司会：浜口 功(太田記念病院)

「HTLV-1 母子感染と水平感染」 長崎大学医学部産婦人科 三浦清徳

教育講演 13 5月9日(金) 15:10~15:50 第5会場(1F G7)

司会：森岡慎一郎(国立国際医療研究センター国際感染症センター)

「ウイルス性出血熱」 国際医療福祉大学成田病院感染症科 加藤康幸

教育講演 14 5月9日(金) 16:00~16:40 第5会場(1F G7)

司会：國島広之(聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

「動物由来薬剤耐性菌の出現と拡散を防ぐには？」
酪農学園大学獣医学群獣医学類食品衛生学ユニット 臼井 優

教育講演 15 5月9日(金) 16:50~17:30 第5会場(1F G7)

司会：宮良高維(神戸大学医学部附属病院感染制御部)

「市中肺炎の疫学と対策」 北里大学医学部感染症内科学 藤倉雄二

教育講演 16 5月9日(金) 17:40~18:20 第5会場(1F G7)

司会：藤田次郎(おもと会グループ)

「マイコプラズマ肺炎・レジオネラ肺炎」
関西医科大学内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科 宮下修行

教育講演 17 5月10日(土) 8:20~9:00 第5会場(1F G7)

司会：國島広之(聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

「感染症サーベイランスにおける下水疫学の現状と今後の展望」
金沢大学理工研究域地球社会基盤学系 本多 了

教育講演 18 5月10日(土) 9:10~9:50 第5会場(1F G7)

司会：三島伸介(関西医科大学総合医療センター総合診療科・感染症内科)

「わが国における輸入感染症の現状と課題」 久留米大学感染制御学講座 後藤憲志

教育講演 19 5月10日(土) 10:00~10:40 第5会場(1F G7)

司会：大曲貴夫(国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター)

「感染症の脅威に備える国際協力：世界の動きと日本の役割」
独立行政法人国際協力機構緒方貞子平和開発研究所 瀧澤郁雄

教育講演 20 5月10日(土) 10:50~11:30 第5会場(1F G7)

司会：川名明彦(防衛医科大学校内科学講座(感染症・呼吸器))

「症状からアプローチするインバウンド感染症への対応～感染症クイック・リファレンス 2025」
東京都立墨東病院感染症科 中村(内山) ふくみ

教育講演 21 5月10日(土) 13:00~13:40 第5会場(1F G7)

司会：春木宏介(獨協医科大学埼玉医療センター)

「ワンヘルスから見たわが国の寄生虫症」 宮崎大学医学部感染症学講座寄生虫学分野 丸山治彦

教育講演 22 5月10日(土) 13:50~14:30 第5会場(1F G7)

司会：岩崎博道(福井大学医学部附属病院感染制御部・感染症膠原病内科)

「100日でワクチンを提供可能にする革新的ワクチン評価システムの構築
＜安全安心な感染症実験環境整備と人材育成のために＞」

東京大学医科学研究所ワクチン科学分野 石井 健

教育講演 23 5月10日(土) 8:20~9:00 第8会場(3F G303)

司会：清田 浩(井口腎泌尿器科・内科 新小岩)

「感染制御の過去・現在・未来」

東京慈恵会医科大学感染制御科 吉田正樹

教育講演 24 5月10日(土) 9:10~9:50 第8会場(3F G303)

司会：宮崎治子(東京医科大学微生物学分野)

「ドラッグ・ラグの現状と課題」

東京慈恵会医科大学感染制御科 堀野哲也

特別企画

特別企画 1 5月8日(木) 15:50~17:50 第1会場(1F G3)

「基礎と臨床の共創」

司会：館田一博(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

四柳 宏(東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野)

1. 感染症インテリジェンスにおける基礎と臨床の共創

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター/国際感染症危機管理対応推進センター 松澤幸正

2. 100日ワクチン構想に貢献する長崎大学の取り組み

長崎大学感染症研究出島特区 森田公一

3. 大阪国際感染症研究センターの共創研究

大阪公立大学大阪国際感染症研究センター, 大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 掛屋 弘

4. パンデミックの脅威から解放された社会の実現にむけて

大阪大学感染症総合教育研究拠点・微生物病研究所 松浦善治

特別企画 2 5月9日(金) 8:50~10:50 第1会場(1F G3)

「感染症とリスク管理～現状と今後～」

司会：加来浩器(防衛医科大学校防衛医学研究センター広域感染症疫学・制御研究部門)

中島一敏(大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科)

1. 感染症危機におけるリスクガバナンス体制

ーリスクアセスメント, リスクマネジメント, リスクコミュニケーションの連携ー

大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科 中島一敏

2. 大阪・関西万博時における国一自治体一主催者の感染対策ネットワークの取り組み

大阪健康安全基盤研究所 朝野和典

3. 感染症の危機管理と国立健康危機管理研究機構(JIHS)の役割

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所感染症危機管理研究センター 齋藤智也

4. 感染症危機管理におけるワンヘルスアプローチ・ネットワーク構築の重要性

聖マリアンナ医科大学感染症学講座 賀来満夫

特別企画3 5月9日(金) 10:30~11:30 第8会場(3F G303)

「学会誌の活性化に向けて—現状と課題—」

司会：石井良和(広島大学 IDEC 国際連携機構)

高橋 聡(札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

1. 日本化学療法学会雑誌編集委員長の立場から 虎の門病院臨床感染症科 荒岡秀樹
2. 感染症学雑誌編集委員長の立場から 名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 中村 敦
3. Journal of Infection and Chemotherapy 誌編集長の立場から 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学 泉川公一
4. ピア・レビュー・クライシス—これからの査読制度はどうあるべきか?— 国際医療福祉大学 田沼順子

ジョイントシンポジウム

ジョイントシンポジウム1 5月8日(木) 9:10~10:40 第1会場(1F G3)

(日本環境感染学会多剤耐性菌感染制御委員会)

「基礎と臨床が共創する薬剤耐性菌感染対策」

司会：飯沼由嗣(金沢医科大学臨床感染症学)

高橋 聡(札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

1. 抗菌薬適正使用のための細菌学の基礎
大阪公立大学大学院医学研究科細菌学,
大阪公立大学大学院医学研究科感染症科学研究センター,
大阪公立大学大阪国際感染症研究センター 金子幸弘
2. 感染対策に役立つ微生物検査 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学 小佐井康介
3. 薬剤耐性菌対策のための抗菌薬適正使用 高知大学医学部臨床感染症学講座 山岸由佳
4. 薬剤耐性菌の感染対策 国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院 下川結花

ジョイントシンポジウム2 5月8日(木) 16:20~17:50 第4会場(1F G6)

(日本医真菌学会)

「侵襲性真菌症の脅威と対策」

司会：宮崎義継(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所

ハンセン病研究センター・真菌部)

渡邊 哲(千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野)

1. *Aspergillus* 感染症への新しい治療戦略
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学, 長崎大学病院呼吸器内科 高園貴弘
2. 稀な糸状菌感染症の疫学と診断—ムーコルを中心に—
大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学,
大阪公立大学医学部附属病院感染制御部,
大阪国際感染症研究センター 柴多 渉
3. 新興真菌 *Candida auris* : 疫学・微生物学的特徴に関する最新の知見と現在の課題
国立感染症研究所真菌部 阿部雅広
4. 増加する inbound 真菌症への対応 千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野 渡邊 哲

ジョイントシンポジウム 3 (JaSA ジョイントシンポジウム) 5月9日(金) 8:50~10:50 第2会場 (1F G4)
(日本集中治療医学会・日本救急医学会・日本感染症学会)

「敗血症診断, 治療 up to date」

司会: 柳原克紀 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野 (臨床検査医学), 長崎大学病院臨床検査科/検査部)

近藤 豊 (順天堂大学大学院医学研究科救急・災害医学)

1. 敗血症に対する初期対応 薬師寺慈恵病院 薬師寺泰匡
2. 敗血症の迅速診断 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野,
長崎大学病院臨床検査科/検査部 加勢田富士子
3. 敗血症に対する感染症診療と薬剤耐性対策
東京科学大学大学院医歯学総合研究科統合臨床感染症学分野,
東京科学大学病院感染症内科/感染制御部,
東京科学大学感染症センター (TCIDEA) 田頭保彰
4. 敗血症における抗菌薬耐性と治療戦略 国立国際医療研究センター 早川佳代子
5. 敗血症全身管理のエッセンス 慶應義塾大学医学部麻酔学教室 壽原朋宏

ジョイントシンポジウム 4 5月9日(金) 16:20~18:20 第2会場 (1F G4)
(日本結核・非結核性抗酸菌症学会)

「内憂外患: 結核に対する考えをあらためる」

司会: 御手洗聡 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部)

森本耕三 (複十字病院呼吸器センター)

1. 結核菌の感染と発病機序 国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科 武田啓太
2. 結核の宿主感受性
大分大学医学部結核医療体制強化事業, 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 山末まり
3. 核菌薬剤耐性の機序とその検出: 本邦で耐性結核を迅速に診断するためには
公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部, 北海道大学病院呼吸器内科 鎌田啓佑
4. 結核の病態を反映する宿主バイオマーカー 慶應義塾大学保健管理センター 西村知泰

ジョイントシンポジウム 5 5月9日(金) 8:50~10:20 第6会場 (1F G8)
(日本呼吸器学会)

「呼吸器感染症の制圧に向けて」

司会: 長谷川直樹 (慶應義塾大学医学部感染症学)

迎 寛 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野(第二内科))

1. 呼吸器感染症の現状 関西医科大学内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科 宮下修行
2. 高齢者における呼吸器感染症ワクチンの重要性
琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座 山本和子
3. 薬剤供給問題 国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科 佐々木結花
4. 呼吸器感染症予防週間に対する期待 参議院議員 (福岡県選出) 秋野公造

シンポジウム

シンポジウム 1 5月8日(木) 9:10~10:40 第2会場 (1F G4)

「呼吸器疾患と感染症」

司会: 迎 寛 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野(第二内科))

山本和子 (琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座)

1. 気管支喘息治療は肺非結核性抗酸菌症に影響するか
関西医科大学内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科 宮下修行

2. 臓器移植患者における非結核性抗酸菌症管理の最前線 東北大学病院臓器移植医療部 平間 崇
3. 間質性肺疾患に潜む肺アスペルギルス症 虎の門病院呼吸器センター内科 宮本 篤
4. 肺非結核性抗酸菌症と肺アスペルギルス症

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学,
長崎大学病院感染制御教育センター/総合感染症科 田代将人

シンポジウム2 5月8日(木) 9:10~10:40 第3会場(1F G5)

「COVID-19 後遺症と現在の課題」

司会：忽那賢志(大阪大学大学院医学系研究科感染制御学)
櫻井亜樹(国立国際医療研究センター国際感染症センター)

1. 日本における COVID-19 罹患後症状の疫学 国立国際医療研究センター病院国際感染症センター 森岡慎一郎
2. COVID-19 の抗ウイルス薬による後遺症の予防効果について 大阪大学大学院医学系研究科感染制御学 忽那賢志
3. 小児の COVID-19 後遺症とその課題 大阪大学医学部附属病院感染症内科 日馬由貴
4. 血液疾患および移植患者における COVID-19 臨床上の課題と対応 虎の門病院臨床感染症科 荒岡秀樹

シンポジウム3 5月8日(木) 10:50~12:20 第3会場(1F G5)

「感染対策における数理モデルと人工知能の活用」

司会：岩見真吾(名古屋大学大学院理学研究科理学専攻生命理学領域異分野融合生物學研究室)

土井洋平(藤田医科大学医学部微生物学講座・感染症科)

1. 動物由来ウイルスのリスク評価に向けたウイルスゲノム疫学研究 千葉大学大学院医学研究院 川崎純菜
2. 感染症危機管理時における人工知能を活用したインテリジェンス収集 国立国際医療研究センター国際感染症センター 石金正裕
3. 下水中のウイルスモニタリングと数理疫学モデルによる感染症流行予測 総合研究大学院大学・統合進化科学研究センター 佐々木顕
4. 数理モデルと人工知能を駆使した感染症対策の最適化 名古屋大学大学院理学研究科理学専攻生命理学領域異分野融合生物學研究室 岩見真吾

シンポジウム4 5月8日(木) 16:20~17:50 第3会場(1F G5)

「CDI 診療 update 2025」

司会：國島広之(聖マリアンナ医科大学感染症学講座)
吉澤定子(東邦大学医学部臨床検査医学講座/微生物・感染症学講座)

1. 国内外の疫学・基礎研究 富山大学学術研究部医学系微生物学講座 森永芳智
2. One health と CDI 高知大学医学部臨床感染症学講座 山岸由佳
3. NAAT 検査は誰に使えるか? 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野(臨床検査医学), 長崎大学病院臨床検査科/検査部 柳原克紀
4. CDI 治療薬：フィダキソマイシンと新規治療薬の展望 昭和医科大学医学部内科学講座臨床感染症学部門 森 伸晃

シンポジウム5 5月8日(木) 14:40~16:10 第6会場(1F G8)

「比較的まれな疾患の検査はどうする」

司会：嵯峨知生(秋田大学医学部附属病院感染制御部)
金森 肇(金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学研究分野)

1. 寄生虫症・マラリア 国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究センター熱帯医学・マラリア研究部 狩野繁之

2. シャーガス病（アメリカトリパノソーマ病）の検査 埼玉医科大学臨床検査医学 今井一男
3. Q 熱（*Coxiella burnetii* 感染症）の診断における困りごと
鹿児島大学共同獣医学部病態予防獣医学講座 安藤匡子
4. 希少真菌症 千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野 渡邉 哲

シンポジウム 6 5月8日（木）16：20～17：50 第6会場（1F G8）

「抗菌薬適正使用支援プログラム（ASP）実践のためのガイダンス」

司会：川口辰哉（熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科）

村木優一（京都薬科大学臨床薬剤疫学分野）

1. 抗微生物薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス 2024 年度改訂版の概要
熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科 川口辰哉
2. ASPs を適切に評価するための指標，課題の発見から克服に向けて
昭和医科大学薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部門 前田真之
3. 中小施設における AS の効率的な組織運営について 新潟県立新発田病院 田邊嘉也
4. AS における介入の実践と課題～最適なアプローチを探る～
京都府立医科大学附属病院薬剤部 小阪直史

シンポジウム 7 5月8日（木）9：10～10：40 第7会場（3F G304）

「懸念される新興再興感染症とパンデミック対策」

司会：時松一成（昭和医科大学医学部内科学講座臨床感染症学部門）

北原隆志（山口大学医学部附属病院薬剤部）

1. 国際的に脅威となる感染症の現状 東北大学大学院医学系研究科 押谷 仁
2. COVID-19 対策とその後 自治医科大学附属さいたま医療センター小児科 田村大輔
3. SARS と MERS の教訓—急性呼吸器感染症への包括的な対策—
独立行政法人国立病院機構三重病院 谷口清州
4. 新型インフルエンザ対策 厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課 野田博之

シンポジウム 8 5月8日（木）9：10～10：40 第8会場（3F G303）

「国立健康危機管理研究機構（JIHS）の活動に見る感染症分野における危機管理」

司会：大曲貴夫（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター）

福田哲也（国立国際医療研究センター/国立健康危機管理研究機構 JIHS）

1. EOC（緊急時対応センター）について
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所感染症危機管理研究センター 齋藤智也
2. 感染症インテリジェンスにおける国際ネットワークの重要性
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター/国際感染症危機管理対応推進センター 松澤幸正
3. 重点感染症リストの見直しと感染症危機管理対応医薬品等の研究開発について
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 大曲貴夫
4. 感染症臨床研究ネットワークの活動 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 日尾野宏美

シンポジウム 9 5月8日（木）10：50～12：20 第8会場（3F G303）

「感染症人材育成プログラムを考える」

司会：小宮幸作（大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座）

船木孝則（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所研究企画調整センター）

1. 新感染症専門医制度の現状と課題 富山大学附属病院感染症科 山本善裕
2. 感染症危機管理専門家（IDES）養成プログラムの実際
国立健康危機管理研究機構感染症危機管理研究センター 内木場紗奈
3. 感染症医のミッドキャリア形成に関する相談の経験
国立国際医療研究センター国際感染症センター 守山祐樹

4. 感染症危機管理リーダーシップ研修:

感染症危機管理対応を行う地域のリーダーシップ人材の育成を目指して

国立国際医療研究センター企画戦略局研究開発連携室 福田哲也

シンポジウム 10 5月8日(木) 16:20~17:50 第8会場(3F G303)

「MRSA 研究の最前線と未来を見据えた臨床応用へのアプローチ」

司会: 山口哲央(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

中南秀将(東京薬科大学薬学部臨床微生物学教室)

1. MRSA 感染症の問題点と今後の課題

宮崎大学医学部内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 宮崎泰可

2. 皮膚感染症から分離される MRSA

東京薬科大学薬学部臨床微生物学教室 中南秀将

3. MRSA と検査の未来

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野,

長崎大学病院臨床検査科/検査部 加勢田富士子

4. 日本における血流感染症由来 SA 分離株のゲノム情報と臨床情報を統合したナショナル・サーベイランス JARBS-SA について

国立健康危機管理研究機構薬剤耐性研究センター, 広島大学大学院医系科学研究科薬剤耐性学,

広島大学院内感染症プロジェクト研究センター 久恒順三

シンポジウム 11 5月9日(金) 10:00~11:30 第3会場(1F G5)

「外来・在宅・入院の場面において AMR に対応した抗菌薬選択を考える」

司会: 藤村 茂(東北医科薬科大学大学院薬学研究科臨床感染症学教室)

吉田耕一郎(近畿大学病院安全管理センター感染対策部)

1. マクロライド耐性マイコプラズマを念頭にいた抗菌薬の選択

川崎医科大学臨床感染症学教室 大石智洋

2. ESBL 産生 *E. coli* 感染症の現状と AMR 対策

坂総合病院薬局 伊藤亮太

3. カルバペネム耐性グラム陰性桿菌

亀田総合病院感染症内科 細川直登

4. AMR 対策のための広域抗菌薬の多様化の評価について

—抗菌薬の使い分け指標の AHI とリスク調整した予測使用量の SAAR について—

兵庫医科大学感染制御学, 兵庫医科大学病院感染制御部 植田貴史

シンポジウム 12 5月9日(金) 15:10~16:40 第3会場(1F G5)

「Waterborne infection とその対策」

司会: 猪狩英俊(千葉大学医学部附属病院感染制御部)

松本哲哉(国際医療福祉大学医学部感染症学講座)

1. 腸内細菌目細菌

東京医科大学病院感染制御部・感染症科 中村 造

2. レジオネラ症対策

国立病院機構沖縄病院 比嘉 太

3. 水環境に潜む非結核性抗酸菌の病態とその感染対策

慶應義塾大学医学部感染症学教室 南宮 湖

4. 水系感染する寄生虫症とその対策

埼玉医科大学病院臨床検査医学(中央検査部) 前田卓哉

シンポジウム 13 5月9日(金) 16:50~18:20 第3会場(1F G5)

「日本におけるエムボックス診療」

司会: 中村(内山)ふくみ(東京都立墨東病院感染症科)

堀野哲也(東京慈恵会医科大学感染制御科)

1. エムボックスの最新の疫学と臨床対応の実際

国立国際医療研究センター国際感染症センター 石金正裕

2. エムボックス診療における感染対策

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所薬剤耐性研究センター,

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所応用疫学研究センター 黒須一見

3. エムボックス—Clade I の現在～Transmission から免疫交差性まで

大阪公立大学大学院医学研究科ウイルス学/寄生虫学 城戸康年

4. ハイリスク群の感染実態とマネージメント 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 水島大輔

5. MSM コミュニティにおけるエムボックス対策：CBO 主導の多機関連携による普及啓発の実践

特定非営利活動法人 akta 岩橋恒太

シンポジウム 14 5月9日(金) 14:00～15:40 第4会場 (1F G6)

「人獣共通感染症の最新情報」

司会：中村（内山）ふくみ（東京都立墨東病院感染症科）

仲村 究（岩手医科大学附属病院臨床検査医学・感染症学講座）

1. 蚊の体表面の濡れ現象を活用した新たな蚊対策技術

花王株式会社ヒューマンヘルスケア研究所 仲川喬雄

2. マダニ媒介性感染症の近年の状況と最新研究

山口大学共同獣医学部 高野 愛

3. リケッチア感染症の診断と治療

福井大学医学部感染症学講座 酒巻一平

4. 新興人獣共通感染症としての *Echinococcus ortleppi* による単包虫症

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター、宮崎大学農学部獣医学科獣医寄生虫病学研究室 吉田彩子

5. ハンセン病：顧みられない熱帯病の人畜共通感染症としての側面と診療の実際

京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学、京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部 篠原 浩

シンポジウム 15 5月9日(金) 16:30～18:20 第4会場 (1F G6)

「ヘルペスウイルス」

司会：山岸由佳（高知大学医学部臨床感染症学講座）

森岡一朗（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

1. なぜ再活性化がおきるのか～ヘルペスウイルス 名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学 木村 宏

2. すべての先天性サイトメガロウイルス感染児をどのように同定するか：

診断法・スクリーニング法を考える

日本大学医学部小児科学系小児科学分野 森岡一朗

3. 免疫抑制患者における CMV 感染と予防

京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学、京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部 長尾美紀

4. ヘルペス属ウイルスによる中枢神経感染症とそのマネージメント（新生児を除く）

和歌山県立医科大学臨床感染制御学講座 小泉祐介

5. 新生児ヘルペスのマネージメント

藤田医科大学医学部小児科学 吉川哲史

シンポジウム 16 5月9日(金) 10:30～11:30 第6会場 (1F G8)

「知っておくべき感染性心内膜炎の診断のポイント」

司会：大原貴裕（東北医科薬科大学老年・地域医療学/総合診療科）

中村 造（東京医科大学病院感染制御部・感染症科）

1. 感染性心内膜炎の診断の overview 埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染制御科 川村隆之

2. 心臓内科からみた IE—新しい診断基準とその意義 東北医科薬科大学医学部老年・地域医療学 大原貴裕

3. 脳合併症の評価と画像診断 埼玉医科大学国際医療センター総合診療内科、脳神経内科 林 健

シンポジウム 17 5月9日(金) 15:10～16:40 第6会場 (1F G8)

「知っておくべき感染性心内膜炎の治療のポイント」

司会：平井由児（東京医科大学八王子医療センター感染症科）

唐牛春香（埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科/薬剤部）

1. 内科医に求められる感染性心内膜炎の治療戦略 東京都立多摩総合医療センター感染症内科 織田鍊太郎

2. 感染性心内膜炎の診療におけるチーム医療の重要性

京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 土戸康弘

3. 感染性心内膜炎に対する外科的治療の適応と至適時期 東京女子医科大学医学部心臓血管外科 新浪博士

シンポジウム 18 5月9日(金) 16:50~17:50 第6会場(1F G8)

「感染性動脈瘤：知っておくべき診断と治療のポイント」

司会：高山陽子（北里大学医学部附属新世紀医療開発センター横断的医療領域開発
部門感染制御学）

新屋夏希（埼玉医科大学国際医療センター感染対策室）

1. 診断と治療 社会福祉法人三井記念病院 龍野桂太
2. 感染性動脈瘤のCT・MRI所見：診断と治療戦略における画像診断の役割
埼玉医科大学国際医療センター画像診断科 馬場康貴
3. 感染性動脈瘤に対する外科的治療 東京都立多摩総合医療センター血管外科 保坂晃弘

シンポジウム 19 5月9日(金) 8:50~10:20 第8会場(3F G303)

「市民と共に創る感染症に強い社会」

司会：中村 敦（名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学）

田沼順子（国際医療福祉大学）

1. エイズ対策における市民社会の役割—レガシーと課題— 国際医療福祉大学 田沼順子
2. 感染症と患者・市民参画 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野 武藤香織
3. 患者当事者支援の取り組み—感染症との接点 日本医療政策機構 河野 結

シンポジウム 20 5月9日(金) 15:10~16:40 第8会場(3F G303)

「感染症・化学療法学術集会の国際化推進」

司会：柳原克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野（臨床
検査医学）、長崎大学病院臨床検査科/検査部）

青木洋介（医療法人至誠会なゆたの森病院）

1. 日本脳神経外科同時通訳団の学会国際化への貢献 岡山労災病院 伊達 勲
2. 本学会がアジア太平洋地域をリードするために必要なこと
琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座 山本和子
3. 臨床医の視点から見た感染症分野における国際化の推進
Promoting Internationalization in the Field of ID: Clinician's View 新潟市民病院総合診療内科 児玉文宏

シンポジウム 21 5月9日(金) 16:50~18:20 第8会場(3F G303)

「わが国の大学病院における渡航外来の現状と課題」

司会：渡邊 浩（久留米大学医学部感染制御学講座）

下野信行（九州大学病院総合診療科/グローバル感染症センター）

1. 山陰での渡航外来の現状と課題 鳥取大学医学部臨床感染症学講座 千酌浩樹
2. 札幌医科大学附属病院で渡航・ワクチン外来を開設して感じたこと
札幌医科大学附属病院感染症内科,
札幌医科大学医学部呼吸器・アレルギー内科学講座,
札幌医科大学附属病院感染制御部 黒沼幸治
3. 大学病院における渡航外来の意義を考える 奈良県立医科大学感染症内科学講座 今北葉津子
4. 関東の渡航外来の現状と課題 獨協医科大学埼玉医療センター臨床検査部 本田なつ絵

シンポジウム 22 5月10日(土) 8:20~9:50 第1会場 (1F G3)

「自然災害と感染症」

司会：泉川公一（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学）

櫻井 滋（元 岩手医科大学附属病院）

1. DICT（Disaster Infection Control Team）のこれまでとこれから

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学 泉川公一

2. 被災地における実際の DICT 活動 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感染症専門医養成講座 川村英樹

3. 被災地におけるロジスティックの課題 株式会社モレーンコーポレーション 草場恒樹

4. J-SPEED の活用と改善のポイント 広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学 久保達彦

5. JMAT（日本医師会災害医療チーム）が取り組む災害時の感染症対策：

平時の研修・訓練から災害時の実働まで

公益社団法人日本医師会救急災害医療対策委員会、平林医院 平林弘久

シンポジウム 23 5月10日(土) 13:00~14:30 第1会場 (1F G3)

「今、気になる性感染症のトピックス」

司会：高橋 聡（札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座）

川名 敬（日本大学医学部産婦人科学分野）

1. MSM における性感染症対策

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター 安藤尚克

2. 次世代に影響する性感染症～梅毒、尖圭コンジローマ、性器ヘルペスを中心に

日本大学医学部産婦人科学分野 川名 敬

3. 薬剤耐性の潮流（マイコプラズマ・ジェニタリウム）

札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 安田 満

シンポジウム 24 5月10日(土) 13:00~14:30 第2会場 (1F G4)

「抗菌薬 TDM 臨床実践ガイドライン 2022」

司会：木村利美（順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部）

松元一明（慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座）

1. バンコマイシンの TDM において解決した課題と今後解決すべき課題 熊本大学病院薬剤部 尾田一貴

2. テイコブラニン TDM において解決すべき課題と解析ソフトウェアの必要性

昭和医科大学薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部門 前田真之

3. アミノグリコシド系抗菌薬の TDM 実施に際し解決すべき課題は何か？

大阪医科薬科大学病院薬剤部/医療総合管理部・感染対策室 山田智之

4. アゾール系抗真菌薬の TDM はポリコナゾールだけで良いのか？

東邦大学薬学部臨床薬学研究室 花井雄貴

5. リネゾリド、ダブトマイシンの TDM が必要な場面を考える 帝京平成大学薬学部薬学科 佐村 優

シンポジウム 25 5月10日(土) 13:00~14:30 第3会場 (1F G5)

「感染症検査を考える 遺伝子検査の活用と課題」

司会：柳原克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野（臨床検査医学）、長崎大学病院臨床検査科/検査部）

横田伸一（札幌医科大学医学部微生物学講座）

1. 薬剤耐性菌の迅速検出と解析における核酸検査技術の現状と課題

長崎大学病院臨床検査科/検査部、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野 賀来敬仁

2. 血流感染における遺伝子検査

広島大学病院感染症科 大毛宏喜

3. 輸入感染症・寄生虫の遺伝子検査

東京女子医科大学感染症科 菊池 賢

4. 遺伝子検査の現状とこれから

防衛医科大学校医学教育部医学科国際感染症学講座 三木田馨

シンポジウム 26 5月10日(土) 10:00~11:30 第4会場(1F G6)

「HIV 診療における最新トピックス」

司会：吉田正樹（東京慈恵会医科大学感染制御科）

田沼順子（国際医療福祉大学医学部感染症学）

1. HIV PrEP について 南奈良総合医療センター感染症内科，関西 HIV 臨床カンファレンス 宇野健司
2. HIV 診療における心血管疾患の予防—REPRIVE 試験の結果をふまえて 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科 仲村秀太
3. 持効性抗 HIV 薬の最新状況 埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染制御科 塚田訓久
4. Doxy-PEP の現状と課題 東京医科大学病院臨床検査医学科 村松 崇

シンポジウム 27 5月10日(土) 13:00~14:30 第4会場(1F G6)

「外科感染症」

司会：重村克巳（帝京大学医学部泌尿器科学講座）

渡邊 学（東邦大学医療センター大橋病院外科）

1. 消化器外科術後感染性合併症に対する治療方針 東邦大学医療センター大橋病院外科 渡邊 学
2. 泌尿器科周術期感染症の課題と対策 東京大学大学院医学系研究科泌尿器外科学 亀井 潤
3. 整形外科領域における周術期感染予防 東京医科大学整形外科学分野 正岡利紀
4. 頭頸部外科における術後感染の予防 和歌山県立医科大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科 保富宗城

シンポジウム 28 5月10日(土) 8:20~9:50 第6会場(1F G8)

「小児と成人で連携すべきワクチンの話題」

司会：中野貴司（川崎医科大学小児科学）

石和田稔彦（千葉大学真菌医学研究センター感染症制御分野）

1. 小児への肺炎球菌結合型ワクチンの効果と限界—血清型とビルレンス— 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科微生物学分野 西順一郎
2. 肺炎球菌ワクチン（成人） 富山県衛生研究所 大石和徳
3. RS ウイルスワクチン（小児） 福島県立医科大学医学部小児科学講座 橋本浩一
4. RS ウイルスワクチン（成人） 杏林大学医学部臨床感染症学 倉井大輔

シンポジウム 29 5月10日(土) 10:00~11:30 第6会場(1F G8)

「次世代ワクチンの開拓」

司会：青柳哲史（東北大学大学院医学系研究科感染病態学分野/総合感染症学分野）

君塚善文（防衛医科大学校内科学講座（感染症・呼吸器））

1. ワクチンと新しいモダリティをつなぐサイエンスとデザイン 東京大学医科学研究所ワクチン科学分野，東京大学医科学研究所国際ワクチンデザインセンター，東京大学新世代感染症センター 石井 健
2. 粘膜ワクチンによる感染症のコントロール 千葉大学医学部附属病院ヒト粘膜ワクチン学部門，東京大学医科学研究所国際ワクチンデザインセンター粘膜ワクチン分野 藤橋浩太郎
3. 次世代ワクチンの開拓に向けた基盤技術構築 一般財団法人阪大微生物病研究会 吉岡靖雄
4. 変異ウイルスにも対応できるユニバーサルワクチン開発に向けて 理化学研究所生命医科学研究センター分化制御研究チーム 黒崎知博
5. 光免疫修飾作用を用いたワクチンアジュバント 防衛医科大学校内科学講座（感染症・呼吸器） 君塚善文

シンポジウム 30 5月10日(土) 13:00~14:30 第6会場 (1F G8)

「癌・免疫不全患者に対するワクチン接種を考える」

司会：小林 治（国立がん研究センター中央病院感染症部）

多屋馨子（神奈川県衛生研究所）

1. 肺炎球菌ワクチン

国立がん研究センター東病院感染症科，国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科 沖中敬二

2. がん患者，免疫不全者に対する新型コロナウイルスワクチン接種の現在地

国立病院機構北海道がんセンター 藤田崇宏

3. RS ウイルスワクチン接種について

東京医科大学八王子医療センター感染症科 相野田祐介

4. がん・免疫不全者における带状疱疹ワクチン接種

国立がん研究センター中央病院 塩塚美歌

5. 免疫抑制患者（移植，透析，癌など）へのB型肝炎ウイルスワクチンの現状と課題

長崎大学病院感染制御教育センター 田中健之

シンポジウム 31 5月10日(土) 13:00~14:30 第7会場 (3F G304)

「バクテリアを食べるウイルス「ファージ」が感染症治療を変える」

司会：土井洋平（藤田医科大学医学部微生物学講座・感染症科）

杉浦 互（国立健康危機管理研究機構臨床研究センター）

1. 動物の細菌感染症に対するファージ療法の可能性

酪農学園大学獣医学群獣医学類 岩野英知

2. 本邦における個別化ファージ療法の準備

国立国際医療研究センター 早川佳代子

3. 多様な細菌感染症に対応するための大規模ファージコレクション

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所治療薬開発研究部 氣賀恒太郎

4. ゲノム解析を基盤とした次世代ファージ療法の開発

大阪公立大学大学院医学研究科ゲノム免疫学，

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターメタゲノム医学分野 植松 智

5. ファージセラピーの実現を目指して

株式会社 Arrowsmith 安藤弘樹

シンポジウム 32 5月10日(土) 10:00~11:30 第8会場 (3F G303)

「キャズムを超えろ！～感染症情報の届け方～」

司会：具 芳明（東京科学大学大学院医歯学総合研究科統合臨床感染症学分野）

上原由紀（順天堂大学大学院医学研究科臨床病態検査医学/総合診療科学）

1. クールな行政にホットな感染症情報を伝える

沖縄県立中部病院感染症内科 高山義浩

2. AMR 対策と広報アプローチ

国立健康危機管理研究機構 AMR 臨床リファレンスセンター 藤友結実子

3. 感染症情報とジャーナリズム

武蔵大学社会学部メディア社会学科，一般社団法人メディカルジャーナリズム勉強会，

広島大学医学部 市川 衛

4. 感染症情報を判断と対策に活かす

東京科学大学大学院医歯学総合研究科感染症健康危機管理学分野 関谷紀貴

パネルディスカッション

パネルディスカッション 1 5月8日(木) 9:10~10:40 第6会場 (1F G8)

（日本感染症学会 AI 委員会企画）

「AI に関するパネルディスカッション」

司会：柳原克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野（臨床検査医学），長崎大学病院臨床検査科/検査部）

竹村 弘（聖マリアンナ医科大学微生物学教室）

1. 感染症領域における AI・機械学習技術応用の試み

アイリス株式会社 沖山 翔

2. 感染症リアルワールドデータを用いた AI の実装化

東京大学医学部附属病院希少難病疾患治療開発実践講座 田岡和城
ディスカッサント：順天堂大学大学院医学研究科臨床病態検査医学/総合診療科学 上原由紀
慶應義塾大学医学部臨床検査医学 上蓑義典
金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学研究分野 金森 肇
埼玉医科大学病院臨床検査医学（中央検査部） 前田卓哉

パネルディスカッション 2 5月9日（金）10：30～11：30 第4会場（1F G6）

「若手医師育成企画：ハイリスク者の肺炎球菌ワクチン予防」

司会：長谷川直樹（慶應義塾大学医学部感染症学）

大石和徳（富山県衛生研究所）

1. 学会連携で推進するハイリスク者に対する肺炎球菌ワクチン予防の概要 富山県衛生研究所 大石和徳
2. 透析患者の肺炎球菌ワクチン接種普及に向けて私たちがすべきこと
慶應義塾大学医学部感染症学，日本透析医学会 吉藤 歩
3. 糖尿病患者に対する肺炎球菌ワクチンの接種啓発について 富山大学未病研究センター 戸邊一之

パネルディスカッション 3 5月9日（金）8：50～10：20 第7会場（3F G304）

「JCI（Joint Commission International）は感染対策に寄与するか～第三者機関評価の役割」

司会：村中裕之（済生会熊本病院 TQM 部）

小松崎直美（順天堂大学医学部附属順天堂医院感染予防対策室）

1. JCI 受審を通して得られる感染対策の改善効果と課題
名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学 八木哲也
2. 機能評価と感染対策 長崎大学病院安全管理部 栗原慎太郎
3. 相互ラウンドによる改善活動の意義 東京慈恵会医科大学附属病院 中澤 靖
4. ローコンテクスト社会で生まれた JCI を，ハイコンテクスト社会の日本の医療に定着させるには？
順天堂大学大学院医学研究科感染制御科学 堀 賢

専門医審議会企画

5月8日（木）16：20～17：50 第7会場（3F G304）

（日本感染症学会）

「新感染症専門医制度を考える」

司会：山本善裕（富山大学学術研究部医学系感染症学講座）

大曲貴夫（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター）

1. 過去 20 年間の感染症フェローシップを踏まえて，新専門医制度に対応したフェローシップの設定について
亀田総合病院感染症内科 細川直登
2. 東京の市中病院から見た新感染症専門医制度 虎の門病院臨床感染症科 荒岡秀樹
3. 奈良県立医科大学における感染症専門医の育成 奈良県立医科大学感染症内科学講座 笠原 敬
4. 持続可能な感染症専門医育成

長崎大学病院感染症医療人育成センター，長崎大学病院総合感染症科 古本朗嗣

男女共同参画推進委員会企画

5月9日（金）10：30～11：30 第7会場（3F G304）

（日本感染症学会）

「これからの働き方とは？ 他学会の現状と臨床現場ががらりと変わる医師のための AI 活用術」

司会：駒瀬裕子（大町市立病院呼吸器内科アレルギー内科/

男女共同参画推進委員会委員長）

加藤裕史（名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学分野）

アンケート報告：駒瀬裕子（大町市立病院呼吸器内科アレルギー内科/

男女共同参画推進委員会委員長）

1. 男女共同参画から働き方改革へ 東京医科大学皮膚科学分野/アレルギーセンター 大久保ゆかり
2. 医師の働き方改革における AI の活用 近畿大学医学部皮膚科学教室 大塚篤司

日本化学療法学会 創立 70 周年記念研究支援プログラム研究成果報告会

5月9日（金）11：00～11：30 第2会場（1F G4）

（日本化学療法学会）

司会：松本哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座）

1. 肺炎球菌ワクチン非含有の 莢膜型 (NVT) 株にみいだされた遺伝子組換えによる耐性菌出現のメカニズム
東京医科大学微生物学分野 高田美佐子
2. 新規マウスモデルを用いたアスペルギローマにおける宿主免疫応答の長期評価
京都府立医科大学感染制御・検査医学教室 濱島良介

ワークショップ

5月9日（金）15：10～16：40 第7会場（3F G304）

（日本感染症学会臨床研究促進委員会）

「あなたの日常診療を科学にしよう Accepted Paper Session

—臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する—」

司会：齋藤昭彦（新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野）

竹村 弘（聖マリアンナ医科大学微生物学教室）

1. マイナー菌の魅力を発掘する
国立国際医療研究センター国際感染症センター，藤田医科大学感染症科 櫻井亜樹
2. 初期研修から始める臨床研究：関連病院での多施設共同研究の試み
岡山大学病院総合内科・総合診療科，岡山大学学術研究院医歯薬学域病原細菌学分野，
岡山大学病院感染症内科 福島伸乃介
3. 腎臓・透析専門医による感染症研究～中小規模市中病院からの論文アクセプト～
医療法人尽心会亀井病院腎臓・高血圧内科 島 久登
4. インフルエンザワクチン接種当日の生活習慣がインフルエンザワクチンの効果と副反応出現に及ぼす影響
についての検討
兵庫県立丹波医療センター内科，
神戸大学大学院医学研究科医学教育学分野地域医療支援学部門 見坂恒明
5. 地域医療からエビデンスを創出するために
京都大学医学部呼吸器内科 伊藤功朗

2023 年度薬剤耐性（AMR）マネジメント推進のための教育プロジェクト助成 （日本化学療法学会/ファイザー株式会社）

5 月 9 日（金）16：50～18：20 第 7 会場（3F G304）

（日本化学療法学会・ファイザー株式会社）

司会：松本哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座）

1. AMR 時代の感染症人材キャリアアップ・ベースアップ形成プロジェクト

富山大学附属病院総合感染症センター，富山大学学術研究部医学系微生物学講座 森永芳智

2. AMR 対策における DX を活用した新世代教育資材の開発 京都薬科大学臨床薬剤疫学分野 村木優一

3. “One Health” 時代における医-獣医連携の薬剤耐性（AMR）感染症教育の実施とその効果

大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 掛屋 弘

4. 同じマインドと方向性で感染症にアプローチをしていけるために

～薬剤耐性（AMR）問題に強くなる感染症基礎講座：高知県での取り組み～

社会医療法人近森会近森病院感染制御部 石田正之

薬剤耐性（AMR）治療ガイドンス作成委員会報告

5月8日（木）10：50～12：20 第7会場（3F G304）

（日本化学療法学会・日本感染症学会）

司会：柳原克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野（臨床検査医学）、長崎大学病院臨床検査科/検査部）

三嶋廣繁（愛知医科大学医学部臨床感染症学講座）

1. 日本における AmpC β -ラクタマーゼ産生菌の現状と治療についての提言
長崎大学病院臨床検査科/検査部，長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野 賀来敬仁
2. ESBL 産生菌による尿路感染症への治療戦略
札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 高橋 聡
3. CRE
広島大学病院感染症科 大毛宏喜
4. ブドウ糖非発酵菌
大阪公立大学大学院医学研究科細菌学，
大阪公立大学大阪国際感染症研究センター，
大阪公立大学大学院医学研究科感染症科学研究センター 金子幸弘

第7回臨床研究促進助成中間報告

5月10日（土）8：20～9：20 第7会場（3F G304）

（日本感染症学会臨床研究促進委員会）

司会：竹村 弘（聖マリアンナ医科大学微生物学教室）

1. 術後患者における免疫学的特性の検討
名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 加藤早紀
2. メチシリン感受性黄色ブドウ球菌における Cefazolin inoculum effect (CInE) の探索的疫学研究と CInE 迅速検査法に関する検討
岡山大学病院総合内科・総合診療科，岡山大学学術研究院医歯薬学域病原細菌学分野，
岡山大学病院感染症内科 福島伸乃介

淋菌感染症アドホック委員会報告

5月10日（土）9：30～10：10 第7会場（3F G304）

（日本化学療法学会・日本性感染症学会）

司会：三嶋廣繁（愛知医科大学医学部臨床感染症学講座）

1. 2022 年に全国で分離された淋菌性尿道炎患者由来淋菌の薬剤感受性
札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 安田 満
 2. 2022 年に全国で分離された淋菌のゲノムタイピングと耐性メカニズムの解析
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 青木弘太郎
-

四学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告

5月10日（土）10：20～11：20 第7会場（3F G304）

（日本化学療法学会・日本感染症学会・日本臨床微生物学会・日本環境感染学会）

司会：松本哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座）

1. 第14回三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス—手術部位感染症—

広島大学病院感染症科，広島大学トランスレーショナルリサーチセンター 繁本憲文

2. 第13回三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告小児科領域サーベイランス

千葉大学真菌医学研究センター感染症制御分野 石和田稔彦

Young Challenger Award 2025
sponsored by シオノギ感染症研究振興財団

Young Challenger Award 2025(日本感染症学会) 5月8日(木)9:30~10:30 ポスター会場 (1F G1+G2)

司会：光武耕太郎（埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科）

1. 唾液を活用した梅毒診断法の開発と梅毒トレポネーマ疫学調査 埼玉医科大学臨床検査医学 今井一男
2. 将来の新興感染症に応用しうる濾紙乾燥血液を用いた免疫獲得状況迅速評価の研究
富山大学学術研究部医学系感染症学講座 川筋仁史
3. 日本紅斑熱好発地域におけるヒト吸血ダニの疫学調査とダニ媒介感染症発症リスクの層別化の実現
岡山大学学術研究院医歯薬学域病原細菌学分野 福島伸乃介
4. 低中所得国における効果的な新興感染症の疫学的監視システムの構築
山形大学医学部感染症学講座 Wannigam Dhammika Leshan
5. ラオス人民民主共和国全国を対象としたワクチンコールドチェーン温度管理状況の評価研究
国立国際医療研究センター国際医療協力局 坪井基行

Young Challenger Award 2025(日本化学療法学会) 5月9日(金)9:30~10:30 ポスター会場 (1F G1+G2)

司会：川名明彦（防衛医科大学校内科学講座（感染症・呼吸器））

6. 抗菌薬の適正使用に関するエビデンスの創出 札幌医科大学附属病院薬剤部 石郷友之
 7. 多剤耐性菌感染症の克服を目指した基礎から臨床と臨床から基礎へのシームレスな研究への挑戦
大分大学医学部附属病院薬剤部 田代 渉
 8. Albumin-Bilirubin スコアを活用した抗微生物薬誘発性肝障害の予防戦略確立：臨床と基礎研究を用いた多角的アプローチ
三重大学医学部附属病院薬剤部 朝居祐貴
 9. 膣から紐解く反復性膀胱炎の病態解明と乳酸菌膣坐剤の実用化 岡山大学病院泌尿器科 定平卓也
 10. β -ラクタム薬/ β -ラクタマーゼ阻害薬の併用療法における *in vivo* pharmacokinetics/pharmacodynamics
評価方法の構築
横浜総合病院薬剤部 五十嵐裕貴
-

スポンサードシンポジウム

スポンサードシンポジウム 1 5月9日（金）8：50～10：20 第4会場（1F G6）

（共催：塩野義製薬株式会社）

司会：大曲貴夫（国立健康危機管理研究機構国際感染症センター）

谷口清州（国立病院機構三重病院）

「パンデミックに備える」

1. COVID-19 パンデミックを振り返る～エビデンスレベルの解釈と将来への課題

大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 小宮幸作

2. 次のパンデミックに備える：インフルエンザの脅威と重症化を防ぐ戦略

北里大学医学部感染症内科学 藤倉雄二

スポンサードシンポジウム 2 5月10日（土）8：20～9：50 第4会場（1F G6）

（共催：塩野義製薬株式会社）

司会：高橋 聡（札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座）

柳原克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野）

「国内の薬剤耐性菌状況を踏まえた治療戦略—セフィデロコルを中心に—」

1. 腸内細菌目細菌感染症に対する治療戦略

広島大学病院感染症科 大毛宏喜

2. ブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌感染症に対する治療戦略

大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 掛屋 弘

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1 5月8日(木) 12:30~13:30 第1会場 (1F G3)

(共催: ファイザー株式会社)

司会: 國島広之 (聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

「新型コロナウイルス感染症: 日本特有の脅威について考える」

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学

(長崎大学病院呼吸器内科) 高園貴弘

ランチョンセミナー 2 5月8日(木) 12:30~13:30 第2会場 (1F G4)

(共催: MSD株式会社)

司会: 泉川公一 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野)

「COVID-19 治療の新たな基軸」

1. 経口 COVID-19 治療薬の特性を整理する〜ラゲブリオのプロファイルを含めて〜

東北医科薬科大学大学院薬学研究科臨床感染症学教室 藤村 茂

2. COVID-19 治療における経口抗ウイルス薬の新機軸

大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 掛屋 弘

ランチョンセミナー 3 5月8日(木) 12:30~13:30 第4会場 (1F G6)

司会: 宮崎義継 (国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所)

ハンセン病研究センター・真菌部)

「深海というフロンティアー深海生真菌の多様性とその潜在的可能性」

国立研究開発法人海洋研究開発機構地球環境部門海洋生物環境影響研究センター

深海生物多様性研究グループ, 変動海洋エコシステム高等研究所海洋微生物生態系変動ユニット 長野由梨子

ランチョンセミナー 4 5月8日(木) 12:30~13:30 第7会場 (3F G304)

(共催: 第一三共株式会社)

司会: 迎 寛 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

呼吸器内科学分野 (第二内科))

「新型コロナ感染症・インフルエンザ感染症の update〜診療・予防・治療の戦略について〜」

東北大学大学院医学系研究科感染病態学分野/総合感染症学分野 青柳哲史

ランチョンセミナー 5 5月8日(木) 12:30~13:30 第8会場 (3F G303)

(共催: イルミナ株式会社)

司会: 板谷 亮 (イルミナ株式会社マーケティング部)

「基礎から分かる次世代シーケンサー: ゲノム情報が変える感染症対策とは?」

1. NGS の基礎と実用例の紹介

イルミナ株式会社営業本部 奥村 元

2. インフルエンザウイルスのサーベイランス ゲノム情報の活用

国立感染症研究所インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター 藤崎誠一郎

ランチョンセミナー 6 5月8日(木) 12:30~13:30 第10会場 (3F G301)

(共催: ミヤリサン製薬株式会社)

司会: 大毛宏喜 (広島大学病院感染症科)

「免疫システムと腸内細菌叢」

愛知医科大学大学院医学系研究科臨床感染症学 三鴨廣繁

ランチョンセミナー 7 5月8日(木) 12:30~13:30 第12会場 (3F G314+G315)

(共催:インスメッド合同会社メディカルアフェアーズ部)

司会:小宮幸作(大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座)

「今、注目される気管支拡張症を知る

～治療・マネージメントの最新情報と今後の展開～」 名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 進藤有一郎

ランチョンセミナー 8 5月9日(金) 11:50~12:50 第1会場 (1F G3)

(共催:インスメッド合同会社)

司会:山本善裕(富山大学学術研究部医学系感染症学講座)

「肺 NTM 診療最前線」

1. 早期診断・治療の必要性を考える:肺 MAC 症の画像進行パターン解析からの示唆

防衛医科大学校内科学講座感染症・呼吸器 君塚善文

2. ALIS 導入に懸ける取り組み:難治性肺 MAC 症治療選択の重要性

東京慈恵会医科大学附属柏病院呼吸器内科 戸根一哉

ランチョンセミナー 9 5月9日(金) 11:50~12:50 第2会場 (1F G4)

(共催:サノフィ株式会社)

司会:長谷川直樹(慶應義塾大学医学部感染症学)

「高齢者インフルエンザの対策」

倉敷中央病院呼吸器内科 石田 直

ランチョンセミナー 10 5月9日(金) 11:50~12:50 第3会場 (1F G5)

(共催:武田薬品工業株式会社)

司会:長谷川秀樹(国立感染症研究所インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター)

「新型コロナウイルス感染症罹患後症状の現状と今後の課題」

名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 石井 誠

ランチョンセミナー 11 5月9日(金) 11:50~12:50 第7会場 (3F G304)

(共催:MSD株式会社)

司会:西順一郎(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科微生物学分野)

「肺炎球菌感染症の最新疫学とワクチン接種の意義」

1. 肺炎球菌結合型ワクチン導入後の小児 IPD 罹患率と肺炎球菌血清型分布の変化:17 年間の疫学データから見たワクチンのインパクト

独立行政法人国立病院機構三重病院 菅 秀

2. 成人の侵襲性肺炎球菌感染症と今後の予防戦略

東京慈恵会医科大学細菌学講座 金城雄樹

ランチョンセミナー 12 5月9日(金) 11:50~12:50 第8会場 (3F G303)

(共催:ファイザー株式会社)

司会:三嶋廣繁(愛知医科大学医学部臨床感染症学講座)

「高齢者における RS ウイルス感染症を再考する」

杏林大学医学部付属病院感染症科 倉井大輔

ランチョンセミナー 13 5月9日(金) 11:50~12:50 第10会場 (3F G301)

(共催:アストラゼネカ株式会社 メディカル本部)

司会:川名明彦(防衛医科大学校内科学講座(感染症・呼吸器))

「ウイルス性呼吸器感染症を俯瞰する」

大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 小宮幸作

ランチョンセミナー 14 5月9日(金) 11:50~12:50 第11会場 (3F G312+G313)

(共催: Meiji Seika ファルマ株式会社)

司会: 賀来満夫 (聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

「次世代 mRNA ワクチン: 偽誤情報の拡散と科学的な有用性情報」

1. ソーシャルメディアにおけるワクチン関連情報の拡散

東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 鳥海不二夫

2. ワクチンに対する信頼とレプリコンワクチンの臨床データを正しく読む

順天堂大学医学部総合診療科学講座 内藤俊夫

ランチョンセミナー 15 5月9日(金) 11:50~12:50 第12会場 (3F G314+G315)

(共催: モデルナ・ジャパン株式会社)

司会: 迎 寛 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野)

「ARI と新型コロナウイルス感染症の現況・予防 2025」

埼玉医科大学医学部国際医療センター感染症科・感染制御科 関 雅文

ランチョンセミナー 16 5月10日(土) 11:50~12:50 第1会場 (1F G3)

(共催: ビオメリュー・ジャパン株式会社)

司会: 菅井基行 (国立健康危機管理研究機構薬剤耐性研究センター)

「グラム陰性耐性菌 耐性機序解析と感受性検査の重要性」

1. グラム陰性耐性菌について

広島大学 IDEC 国際連携機構 石井良和

2. バイテック 2 で測定されたグラム陰性耐性菌の薬剤感受性検査データ

—新規抗菌薬を含めて—

東邦大学医学部微生物・感染症学講座 青木弘太郎

ランチョンセミナー 17 5月10日(土) 11:50~12:50 第4会場 (1F G6)

(共催: ギリアド・サイエンシズ株式会社)

司会: 松本哲哉 (国際医療福祉大学医学部感染症学講座/

国際医療福祉大学成田病院感染制御部)

「最新情報から読み解く COVID-19 入院患者のための最適な治療ゴール」

佐賀大学医学部附属病院感染制御部/飯塚病院感染症科 的野多加志

ランチョンセミナー 18 5月10日(土) 11:50~12:50 第5会場 (1F G7)

(共催: 株式会社日立ハイテク/株式会社日立ハイテクアナリシス)

司会: 鈴木広道 (筑波大学医学医療系感染症内科学/

筑波大学附属病院感染症内科・感染制御部・検査部)

「気づけば感染症医: 棚ぼたで歩んだキャリア写真でつづる私の半生」

長崎大学/北松中央病院/長崎百合野病院 河野 茂

ランチョンセミナー 19 5月10日(土) 11:50~12:50 第7会場 (3F G304)

(共催: 旭化成ファーマ株式会社)

司会: 迎 寛 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野

(第二内科))

「CPA と基礎疾患 最近の知見」

1. CPA は呼吸器疾患の予後に影響する

独立行政法人国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科 佐々木結花

2. 肺がんと CPA

独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター 露口一成

ランチョンセミナー 20 5月10日(土) 11:50~12:50 第8会場 (3F G303)

(共催: グラクソ・スミスクライン株式会社)

司会: 掛屋 弘 (大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学)

「高齢者ウイルス性肺炎の臨床像と予防—RS ウイルスを中心に—」

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学 (長崎大学病院呼吸器内科) 高園貴弘

ランチョンセミナー 21 5月10日(土) 11:50~12:50 第10会場 (3F G301)

(共催: アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社)

司会: 館田一博 (東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

「感染症診療における遺伝子検査の活用と今後の展望」 愛知医科大学医学部臨床感染症学講座 三鴨廣繁

ランチョンセミナー 22 5月10日(土) 11:50~12:50 第11会場 (3F G312+G313)

(共催: ファイザー株式会社)

司会: 長谷川直樹 (慶應義塾大学医学部感染症学教室)

「新たなステージに入った成人の肺炎球菌感染症マネージメント〜期待される新規ワクチンの役割〜」

埼玉医科大学医学部国際医療センター感染症科・感染制御科 関 雅文

スイーツセミナー

5月8日(木) 14:40~15:40 第7会場 (3F G304)

(共催: ファイザー株式会社)

司会: 福島慎二 (東京医科大学病院渡航者医療センター)

「日本に潜むダニ媒介性脳炎 (TBE) の検査と診断〜TBE ワクチンへの期待〜」

新潟市民病院総合診療内科 児玉文宏

イブニングセミナー

イブニングセミナー 1 5月8日(木) 18:00~19:00 第1会場 (1F G3)

(共催: 杏林製薬株式会社)

「正しい抗菌薬選択とは? ~変わる国内ガイドラインと耐性菌から考える~」

司会: 迎 寛 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野
(第二内科))

1. ガイドラインからみた呼吸器感染症における抗菌薬適正使用のポイント

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野 (第二内科) 岩永直樹

2. 耐性菌の機序・傾向から考える抗菌薬選択

東北医科薬科大学大学院薬学研究科臨床感染症学教室 藤村 茂

イブニングセミナー 2 5月8日(木) 18:00~19:00 第7会場 (3F G304)

(共催: ファイザー株式会社)

「もう迷わない! 明日につながる薬剤耐性グラム陰性菌感染症診療の Tips」

司会: 山岸由佳 (高知大学医学部臨床感染症学講座)

1. グラム陰性桿菌における薬剤耐性検出とその臨床的意義

長崎大学病院臨床検査科 賀来敬仁

2. 薬剤耐性グラム陰性菌感染症治療薬の Up to Date

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感染症専門医養成講座 川村英樹

イブニングセミナー 3 5月8日(木) 18:00~19:00 第8会場 (3F G303)

(共催:大正製薬株式会社)

「呼吸器・耳鼻咽喉科感染症の現状と課題～これからの抗菌薬の選択とは～」

司会:松本哲哉(国際医療福祉大学医学部感染症学講座/

国際医療福祉大学成田病院感染制御部)

1. 耳鼻咽喉科専門医の立場より

和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 保富宗城

2. 呼吸器内科専門医の立場より

関西医科大学内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科 宮下修行

第 44 回症例から学ぶ感染症セミナー

5 月 8 日 (木) 14 : 40 ~ 16 : 40 第 2 会場 (1F G4)

※症例提示者，解説者については，日本感染症学会ホームページ
(https://www.kansensho.or.jp/modules/meeting/index.php?content_id=11) をご覧ください。

第 74 回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー

5 月 10 日 (土) 8:30~11:30 第 2 会場 (1F G4)

年次テーマ: 「ショック」

テーマ: 「各種病態におけるショックの診断と治療」

司会: 小泉祐介 (和歌山県立医科大学臨床感染制御学講座)

吉澤定子 (東邦大学医学部臨床検査医学講座/微生物・感染症学講座)

1. 各論 1: 尿路性器感染症による敗血症性ショック 要因と治療

札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 安田 満

2. 各論 2: 腹膜炎による敗血症性ショック 重症度評価と治療戦略

京都医療センター外科・感染制御部 畑 啓昭

3. 各論 3: ICU におけるセブシス, 敗血症性ショックの対応

横浜市立大学附属病院感染制御部/医学部血液・免疫・感染症内科 加藤英明

4. 事例検討

宮崎大学医学部内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 宮崎泰可

第 478 回 ICD 講習会

5 月 10 日 (土) 15:20~16:50 第 1 会場 (1F G3)

「感染制御の最前線：感染対策の Up-to-date とピットフォール」

司会：関 雅文 (埼玉医科大学医学部国際医療センター感染症科・感染制御科)

藤倉雄二 (北里大学医学部感染症内科学)

1. アウトカム指標 (サーベイランス) からプロセス指標 (バンドル遵守率) へ～メリット・デメリット～

順天堂大学大学院医学研究科感染制御科学 堀 賢

2. こうしています, 小児病棟での感染対策

慶應義塾大学医学部小児科 新庄正宜

3. 特殊環境における感染対策：南極観測隊での実践

東邦大学医療センター大森病院感染管理部, 第 63 次南極地域観測隊 澤 友歌
